



ふじみ自然塾 だより

2017.6.12

第 14-1 号

発行；富士見市民大学
ふじみ自然塾
編集；同 企画運営スタッフ
発行日；不定期

1. ふじみ自然塾 開講

5月13日10:00から南畑公民館会議室において、第40期市民大学ふじみ自然塾を開講した。

オープニングでは、受講のしおりにもとづきオリエン

テーションを行い、さらに、実習農場と特別研修コースについて紹介した。また、受講の動機やこれから始まる講座に対する希望など、アンケートを記入いただいた。

2. 基調講演&農場見学(合同講座)

開講当日の昼食後、渋谷先生と特別研修コースの研修生も加わり、自己紹介を行った。

続いて、渋谷先生の基調講演。「まいただけで何もしなくても育つ種もある」の話から始まり、南畑と三芳の畑の使い分けなど「渋谷農園の無肥料自然栽培」について説明があり、無肥料自然栽培を始めた動機などについても説明いただいた。



写真①；自己紹介

当初計画では、基調講演は1時間ほどで、その後は渋谷農園(南畑)の見学と実習農場でキュウリ苗の植付を行う予定になっていたが、この日は朝から雨で農場へ入ることができないため、時々雨の様子を伺いながらQ&Aで時間を費やした。

15:00過ぎ頃になると、ようやく雨も小降りになったので、受講生の強い希望もあって、育苗用ビニールハウス内の見学と、傘をさしながら道路から実習農場の様子を見学した。

最後に、荷捌き場の屋根の下で、一人づつ感想や今後の希望などを述べあい、16:10に散会した。



写真②；育苗ハウス内の見学

3. 第2回講座 さつま芋苗の植付、ほか

6月10日13:30~16:10に渋谷農園(南畑)で、農業実習を行った。今年2度目の真夏日とか、それでも若干風もあり、農作業を楽しんだ。

まず、実習農場へ。先生の指導を受けながら、研修生が植付けたキュウリの誘引を行った。さらに、トマトの手入れの仕方について説明を受けた。

その後、さつま芋畑へ移動。先生の実演・指導の後、皆で「紅ハルカ」と「紅アズマ」の苗を合計で約300本植付けた。晴天続きで土が乾いており、穴をできるだけ深く掘り、植付けた。

時間があれば、そのほかの営農用農場を見学する予定だったが、次回ということになった。

最後の一人づつの感想では、「楽しかった」「秋の収穫が楽しみ」との声が多く聞かれた。



写真③；さつま芋苗の植付

講座終了後、有志で実習農場へ戻って初物のキュウリを3本収穫し、難波田城公園へ行き試食・賞味した。